

---

---

# プログラム

---

---

## 教育講演

13:00～14:00 第1会場(10F 会議室1003)

座長：大西 光雄(大阪医療センター救命救急センター)

災害医療・救急医療における新しい連携、深化した連携

若井 聡智

独立行政法人国立病院機構 本部DMAT事務局

## シンポジウム 「新しい連携、深化した連携」

14:30～16:50 第1会場(10F 会議室1003)

座長：大西 光雄(大阪医療センター救命救急センター)

若井 聡智(独立行政法人国立病院機構 本部DMAT事務局)

- 1 医療提携の新しい連携のあり方「オンラインとオフラインのハイブリット医療連携」  
小川 智也  
MRT株式会社
- 2 医師と診療看護師(NP)が協働して実践するAdvanced triage  
森 寛泰  
国立病院機構 大阪医療センター
- 3 新しい連携、進化した連携で備えるー急慢連携の現在と未来ー  
井川 誠一郎  
平成医療福祉グループ
- 4 職種、職域、地域を超えて連携した研修会からの教訓  
三木 大輔  
大阪市消防局中央消防署
- 5 当地域における特殊災害発生時の多機関連携と今後の展望  
成田 麻衣子  
りんくう総合医療センター 危機管理室
- 6 救急領域におけるソーシャルワーク、新しい、深化した連携の実現に向けて  
～社会的救命を担う救急認定ソーシャルワーカーの立場より～  
高橋 裕美  
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター
- 7 学士課程の新しい救急救命士教育ー現職の救急救命士の困りごとを授業として展開するー  
久保田 千景  
鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 救急救命学科

## 教育講演《看護部会》

10:40～11:40 第2会場(10F 会議室1009)

座長：鈴木 智子(兵庫医科大学病院)

遠隔ICUにおける取り組み～看護師の立場から～

森口 真吾

株式会社Vitaars

## メディカルスタッフ部会企画

「支え合おう！メディカルスタッフ ～各職種からの様々な質問・疑問に答えます  
(医療ソーシャルワーカー、理学療法士、臨床工学技士、看護師編)～」

9:40～11:40 第3会場 (10F 会議室1008)

座長：藤江 建朗 (森ノ宮医療大学医療技術学部臨床工学科)

1

松井 久典

京都第一赤十字病院 医療社会事業部 医療社会事業課

2 理学療法士が考える介助技術

谷口 昌宏

住まいと介護研究所

3 生命維持管理装置を安全に使用するための基礎知識と管理のポイント

田中 勇真

大阪大学医学部附属病院 臨床工学部

4 救急看護師の役割と連携 ～救急外来における多職種連携の現状～

松島 圭吾

日本赤十字社和歌山医療センター 救急外来

## 一般演題《医師部会》「集中治療・感染症」

8:50～9:40 第1会場 (10F 会議室1003)

座長：是枝 大輔 (日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部)

D-1 包皮内への異物挿入でフルニエ壊疽を生じた一例

武田 綾乃

野崎徳洲会病院 救急センター

D-2 緑膿菌による化膿性股関節炎から敗血症性ショックに至った一例

吉田 真未

医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 救命救急センター

D-3 術後出血を繰り返した第XIII因子欠乏症の一例

加藤 祐基

大阪急性期・総合医療センター

D-4 低血糖・低中性脂肪血症を呈する低栄養状態に間接熱量計を用いて栄養管理を行った一例

近藤 隆太郎

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター

D-5 胃潰瘍の脾動脈穿通による出血性ショックに対して脾動脈塞栓術を施行した2救命例

奥野 奈央

関西医科大学総合医療センター 救急救命センター

D-6 尿路感染症による敗血症を契機に痙攣重積を来した敗血症性脳症の一例

山野 敏基

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 初期研修部

## 一般演題《医師部会》「心肺蘇生」

9:40~10:20 第1会場(10F 会議室1003)

座長：石村 圭位(大阪市立総合医療センター)

- D-7 外傷性院外心停止に生じた胸骨圧迫によると考えられた内胸動脈損傷の1例  
堀口 桃子  
奈良県立医科大学 救急医学 高度救命救急センター
- D-8 腸管虚血を合併したKounis症候群の一例  
的場 芽玖美  
大阪府済生会千里病院
- D-9 喉頭癌により上気道閉塞となったoncology emergencyの1例  
大木谷 直樹  
兵庫県災害医療センター/兵庫県立尼崎総合医療センター
- D-10 過食後の急性胃拡張による腹部コンパートメント症候群で広範囲腸管壊死となった一例  
江龍 涼香  
大阪急性期・総合医療センター
- D-11 重症低体温症による心停止へのV-A ECMO後, Rewarming shockを来した一例  
上田 憲一  
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 救命救急センター

## 一般演題《医師部会》「多職種・ある視点」

10:30~11:40 第1会場(10F 会議室1003)

座長：西村 哲郎(大阪公立大学 医学研究科 救急医学)

- D-12 中国から一時帰国もできずリモートで栄養指導を依頼した1例  
古川 智之  
社団美松会生田病院 内科
- D-13 掻痒に対して使用したハサミで刺創に至ったと考えられる症例  
古川 智之  
社団美松会生田病院 内科
- D-14 法的脳死判定から臓器提供を行った一例  
松井 佑起  
中河内救命救急センター
- D-15 当院救急救命士の静脈路確保の現状と課題  
堀江 千春  
済生会滋賀県病院 救急災害業務室
- D-16 院内救命士活動プロトコルを作成する際の課題と対応について  
川口 竜助  
市立奈良病院 救急・集中治療センター
- D-17 COVID19影響下の地域中核病院における2022年1年間の活動報告  
朱 海  
野崎徳洲会病院救急センター
- D-18 (取り下げ)
- D-19 鹿児島徳洲会病院におけるNurse Practitioner導入の実際  
福田 貴史  
医療法人徳洲会鹿児島徳洲会病院

**一般演題《医師部会》「外因（中毒・体温異常等）」**

9:50～10:30 第2会場（10F 会議室1009）

座長：榎原 巨樹（京都第一赤十字病院）

D-20 慢性CO中毒を背景に意識障害から救急搬送されて経過中に血栓性肺塞栓症を呈した一例

中田 浩史

野崎徳洲会病院 救急センター

D-21 自殺目的でインスリン1200単位を皮下注射した一例

榊 華野子

大阪警察病院 臨床研修医指導センター

D-22 上部消化管内視鏡による残存薬物除去を行った急性中毒の1例

重見 拓弥

滋賀医科大学 救急・集中治療部

D-23 傘の誤飲により喉頭浮腫を来した一症例

堀場 篤

大阪市立総合医療センター 救命救急センター

D-24 多臓器不全を来しただんじり熱中症の1例

渡邊 輝

医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院

**一般演題《医師部会》「ER・症例報告」**

8:50～9:30 第3会場（10F 会議室1008）

座長：岡島 祥憲（大阪公立大学病院）

D-25 開口障害を呈した石灰沈着性頸長筋腱炎の一例

山口 利昌

大阪市立総合医療センター 初期急病診療部

D-26 北摂の山中で複数のマダニ刺症を受け、日本紅斑熱感染が判明した症例の検討

豊島 千絵

愛仁会高槻病院 救急科

D-27 餅の摂取後に胃潰瘍を発症した一例

植田 典子

関西電力病院

D-28 呼吸苦の増悪で搬送された先天性メトヘモグロビン血症の1例

本田 晃敏

大阪市立総合医療センター 救命救急部

D-29 中心静脈カテーテルが迷入し、高カロリー輸液の血管外漏出で壊死を生じた症例

平山 敬浩

京都山城総合医療センター 救急部・麻酔科

## 一般演題《医師部会》「外傷」

14:30～15:20 第3会場(10F 会議室1008)

座長：福間 博(りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター)

D-30 緊急手術を必要とした外傷性左横隔膜ヘルニアの1例

山口 聖也

大阪公立大学医学部附属病院 救命救急センター

D-31 アイスピックで頭部と腹部を自傷した一例

友西 峻資

大阪医科薬科大学 救急医療部

D-32 保存的治療を選択した主腓骨損傷を伴う小児の腓骨損傷の一例

中田 匡俊

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター

D-33 大腿骨頸部骨折にて入院加療中に生じた脂肪塞栓症候群(FES)の一例

栗林 健一

京都山城総合医療センター 研修医

D-34 外傷で発症した遅発性尿管損傷の1例

北澤 徹三

野崎徳洲会病院 救急センター

D-35 胸部外傷の経過中に左内頸静脈血栓性静脈炎を発症した1例

山本 祐生

関西医科大学附属病院 高度救命救急センター

## 一般演題《看護部会》「看護1」

9:00～9:40 第2会場(10F 会議室1009)

座長：今中 陽子(国立循環器病研究センター)

N-1 救急外来でできる患者家族支援～二次救急外来での取り組み～

藤原 美咲

川西総合医療センター 看護部 救急

N-2 救急外来における帰宅支援の取り組み

小川内 弘子

堺市立総合医療センター 救命救急センター

N-3 コーンの危機モデルを使用したERでの家族看護

吉村 咲穂

奈良県総合医療センター 看護部 救急・集中治療センター ER

N-4 救命救急センターで勤務する看護師の緩和ケアに関する葛藤

山本 一栄

奈良県立医科大学附属病院 看護部

N-5 COVID-19対応が看護師に与える影響についての考察(第二報)

大東 幸子

国立病院機構大阪医療センター 看護部 救命救急センター

**一般演題《看護部会》「教育」**

13:00～13:40 第2会場（10F 会議室1009）

座長：立助 恵子（神戸掖済会病院）

N-6 外来救急・検査部門で初めて新人看護師教育計画に取り組んだ結果報告  
河野 久世

地方独立行政法人 市立東大阪医療センター

N-7 めざせERの達人 ～CPA対応強化に向けた取り組み～

山村 郁菜子

市立大津市民病院

N-8 A病院救命救急センターでの災害医療の知識、意識の向上への取り組み  
青西 冬馬

近江八幡市立総合医療センター 看護部 救命救急センター 救命救急病棟

N-9 院内トリアージの検証と今後の課題

伊志嶺 典加

関西電力病院 救急科

N-10 二次救急医療機関を支える救急救命士の教育体制

林 詳子

川西市立総合医療センター 看護部 救急

**一般演題《看護部会》「看護2」**

14:30～15:10 第2会場（10F 会議室1009）

座長：岡村 千絵（医療法人 晋真会 ベリタス病院）

N-11 救命センターにおける高頻度接触表面からの感染拡大の調査

立岡 怜

関西医科大学総合医療センター 看護部 救急医学科

N-12 当院ICUにおける栄養管理のアセスメント力向上を目指した取り組み

能美 由華

兵庫県災害医療センター 看護部 ICU

N-13 Rapid Response System導入後、救急コールの件数の変化と課題

表 佳代

日本赤十字社和歌山医療センター

N-14 A病院における看護師から診療放射線技師へ静脈路確保のタスクシフト

野村 典子

京都中部総合医療センター

N-15 ERセンターにおけるインカムを用いた看護師と救急救命士の連携とその効果について

西野 恵美

社会医療法人純幸会 関西メディカル病院

## ランチョンセミナー 1

共催：ニプロ株式会社

12:00～12:50 第1会場(10F 会議室1003)

座長：安宅 一晃(地方独立行政法人 奈良県総合医療センター)

- 1 院内急変対応—アセスメントと記録—これまでとこれから  
大西 光雄  
独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
- 2 看護師の働き方改革！ HN LINE導入の実際、課題、展望  
寺坂 勇亮  
京都桂病院 救急科

## ランチョンセミナー 2

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

12:00～12:50 第2会場(10F 会議室1009)

座長：山田 知輝(大阪警察病院 ER・救命救急科)

間接熱量計を用いた代謝、栄養管理

- 1 間接熱量計と酸素摂取率に基づいた目標投与エネルギー量の設定について  
清水 健太郎  
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター
- 2 代謝量をモニタリングし患者の病態に応じた栄養評価を行う—リアルタイムに評価する時代の到来  
小島 将裕  
国立病院機構大阪医療センター救命救急センター

## ランチョンセミナー 3

共催：エドワーズライフサイエンス株式会社

12:00～12:50 第3会場(10F 会議室1008)

座長：中森 靖(関西医科大学総合医療センター 救急医学科)

近赤外分光法を用いた局所酸素飽和度測定からわかること

竹川 良介

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター

## ランチョンセミナー 4

共催：アストラゼネカ株式会社

12:00～12:50 第4会場(10F 会議室1001)

座長：小谷 穰治(神戸大学大学院医学研究科外科系講座 災害・救急医学分野)

抗凝固薬に対する早期中和療法の臨床的意義—使用の工夫と今後の期待—

竹上 徹郎

京都第一赤十字病院 救命救急センター